

前進座大阪公演

鶴屋南北作「とうかいどうよつやかいだん」

東海道四谷怪談

小野文隆 〓 台本 寺田義雄 〓 照明
中橋耕史 〓 演出進行 杵屋佐之忠 〓 音楽
熊野隆二 〓 美術 小野文隆 〓 舞台監督

非情な男女のもつれ、

からまる忠義と不忠—

めったに見られない

「三角屋敷」の場を含む前進座版

四谷怪談ならではの

驚きのスペクタクルと
壮絶なドラマを描き出す



直助権兵衛 藤川矢之輔



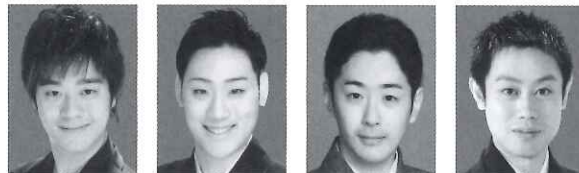
民谷伊右衛門 嵐芳三郎



松涛喜八郎 柳生啓介 河原崎國太郎 藤川矢之輔



上滝啓太郎 早瀬栄之丞 寺田昌樹 嵐芳三郎



嵐市太郎 松浦海之介 玉浦有之祐 藤井偉策



山崎辰三郎 石嶋隆生 松永 瑤 和田優樹

鶴屋南北の最高傑作として、また歌舞伎屈指の人気作として、今も私たちを楽しませてくれる名作。怪談といえば「四谷怪談」、幽霊といえば「お岩様」。ケレン・カラクリに満ちた「髪梳き」「戸板返し」などなど、驚きの名場面が続きます。

前進座では、二〇一六年に劇団創立八十五周年記念公演として、三十四年ぶりに東京・国立劇場大劇場で上演しました。へお岩・伊右衛門のメインストーリーに、へお袖・与茂七・直助のサイドストーリーである「三角屋敷の場」を加えた上演は大評判を取りました。非情な伊右衛門の犠牲になったお岩の哀れさ、名もなき庶民たちの壮絶な生き様に迫る前進座版。南北劇らしい趣向と世話物の面白さをお届けします。

お岩役は『お染の七役』『謎帯一寸徳兵衛』『解脱衣楓累』など多くの南北劇のヒロインを演じてきた当代河原崎國太郎。当代俳優陣・スタッフの総力を結集し「前進座歌舞伎」の新たなステージをお見せします。

【前進座】昭和六年（一九三二）に若き歌舞伎俳優たちによって創立され、二〇二二年に創立九十一周年を迎えました。戦前戦後の時代から現代に至るまで、都市大劇場、各地中学校体育館を問わず演劇普及に邁進。歌舞伎をレパートリーに持つ貴重な劇団としても評価されています。

2022年 9月 1日(木)～7日(水)

大阪日本橋 国立文楽劇場

	9月 1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)	7日(水)
午前の部	11:00						
	12:00						
午後の部	15:30			貸切			

【ご観劇料金(税込)】1等席 9,000円 2等席 6,300円 (19列のみ)

★お申込・お問合せ 劇団前進座 関西事務所

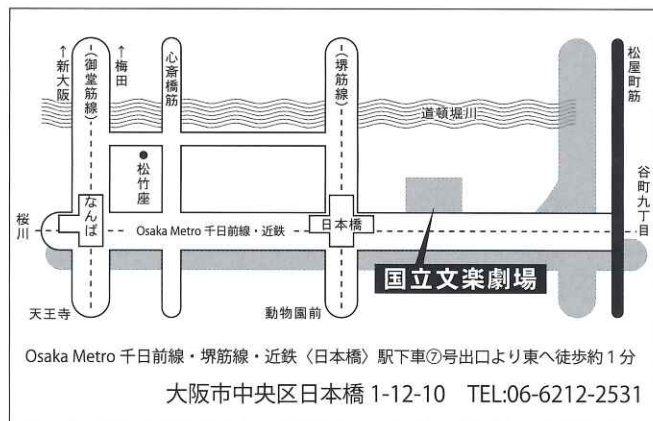
TEL:06 (6212) 9600 Fax:06 (6212) 3939

前進座ウェブサイト <http://www.zenshinza.com/>

〒542-0077 大阪市中央区道頓堀1丁目東5-7 劇団前進座道頓堀ビル

●プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 511-463)
国立文楽劇場 チケット売場



本公演は、政府・自治体および業界団体・施設等の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って、開催いたします。なお、感染症のまん延状況およびその対策により、公演の開催や内容が変更になる場合がございます。

8月1日(月) 10時より チケット発売開始